

令和5年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム【第1章】 コーディネーター研修会

日 時：令和5年9月10日（日）10:00～11:30

場 所：和歌山県立情報交流センターBig・U

参加者：23名

テーマ：「子供たちの未来、地域の未来を創る」

「コーディネーターの実践と課題解決について語り合おう」

文部科学省CSマイスター

大阪府美加の台中学校ゆめ☆まなびネット代表 大谷 裕美子 氏

👉 コーディネーターの役割を知ろう！

企画・立案	地域や学校の実情に合わせた地域学校共同補活動の企画・立案
連絡・調整	学校や地域住民、民間企業、団体、機関等の関係者との連絡・調整
募集・確保	地域ボランティアの募集・確保
事務・経理	地域学校協働本部の事務処理・経理
情報提供	地域住民への情報提供・助言・活動促進

👉 一緒に動いてくれる仲間を見つけよう！

人材発掘スリーステップ

参加

地域行事等に**参加**
して楽しんでいる
人を見つける

手伝う

行事やイベントの
受付等の運営を**手
伝ってもらう**

企画

行事やイベント等
で1つのブースの
企画・運営を任す

👉 課題解決について語り合おう！



コーディネーターの心得！！



フィルター役であり、
クッション役であり、
プロデューサーである！



令和5年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム【第2章】

日時：令和5年9月10日（日）13:00～16:00

場所：和歌山県立情報交流センターBig・U

参加者：94名

テーマ：「子供たちの未来、地域の未来を創る」

事例発表「ゆるく！～困りごとを見つけよう～」

和歌山県CSマイスター

元田辺市立高雄中学校長 音無 長裕 氏

まずは、多く！～当事者意識を高めよう～

協議会（※）の回数増	年間2回から6回へ、集まれば何かが生まれる！かも？
運命共同体	学校運営の基本方針を承認した時点で運命共同体になる！
連絡メールの登録	協議会委員もメール登録することで、教職員と同等の立場！
連名での文書	文書は協議会会長と校長の連名で配布
合同研修会の開催	夏休みは、協議会委員と教職員がお互いを知るチャンス！
教職員アンケート	何でもいいから困りごとを書いてごらん！実現するかはわからないけど、協議会で話し合ってみよう！
公民館との連携	学習発表会に公民館作品も展示することでWIN-WINの関係！

※田辺市は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6第1項の規定する学校運営協議会として、学社融合推進協議会を置いているため、HP内では協議会と記述しています。

次に、見直し！～報告会はもったいない～

協議会の見直し

学校の「頑張ってます」の報告会はやめよう！

学校の課題を解決できる組織にしよう！

最後に、ゆるく！～困りごとを見つけよう～

ノープランでいい。結論が出なくてもいい。
お菓子でも食べながら「ゆるく」話し合いませんか！
良いアイデアが出る確率・・・会議室0%



コミュニティ・スクールとは！

子供の幸せを進めるもの

子供一人の困りごとを学校全体の課題としてとらえる。

学校運営をよりよくするもの

うまくいかなかったとしても「皆で動けた」ことはプラスになる。

地域を活性化するもの

子供は学校だけで過ごしません。地域の課題も協議会で話しましょう。

令和5年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム【第2章】

事例発表「北名古屋市版コミュニティ・スクール」

北名古屋市教育委員会教育部学校教育課
教育指導員 尾崎 洋志 氏

北名古屋市版コミュニティ・スクールとは？

「**学校運営協議会**」と「**地域学校協働本部**」を一体化し、
教育委員会がサポートしながら推進・運営する仕組み

地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の配置と役割

各学校に1名以上の地域学校協働活動推進員を配置（23名）
また、各推進委員は学校運営協議会の委員として委嘱

ボランティアの募集

関係機関との連絡・調整

学校からの要望

コミュニティ・スクール推進の**潤滑剤**として活躍

北名古屋市立師勝北小学校の活動例

学習支援部

- 学習支援ボランティア
（読み聞かせ「ブックツリー」等）
- 防災教育支援

環境安全支援部

- スクール・ガード
- 学校支援ボランティア
（図書整備等）
- クリーンボランティア



地域連携部

- 自治会「納涼祭」
- 夜の学校で遊ぼう
- ふれあい餅つき会
- 成人のつどい
- あいさつ運動
- お年寄り宅訪問

小中連携部

- 中学生あいさつ運動
- 資源回収（中学生ボランティア参加）
- 部活動交流

コミュニティ・スクールを進める想い

30年後、コミュニティ・スクールで育った子どもたちが親となり、
我が子のために学校支援ボランティアとして、学校に戻ってきてくれることを願っている。

令和5年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム【第2章】

講演「コミュニティ・スクールの可能性」

文部科学省CSマイスター

福岡県春日市財政課 主査 西 祐樹 氏

なぜ、今コミュニティ・スクールが求められるのか？

AIに置き換わらない能力

(自己信頼・変化思考・好奇心・当事者意識・達成欲求)

学校だけで育めるものではない！

先の見えない時代において
成長する人のキャリア意識は高い

教師の役割は、青年と
社会人を引き合わせること！

👉 **人は人を浴びて、人になる！そのきっかけを作ることが重要！**

コミュニティ・スクールとは・・・

学校と地域が知恵を出し合い、力を集結して、

「**自分たちの学校**」をよりよいものにしていくための仕組み
このことを通じて、**子供たちの未来、地域の未来を創っていく**



コミュニティ・スクール（学校運営協議会）が共通理解したいこと

課題とは ⇒ 当事者間で「解決すべきだ」と前向きに合意形成された問題のこと

「学校運営の基本方針」を ⇒ 自分たちで作った目標だから、そのための行動を皆で承認するとは 考えるようになる。当事者意識の醸成につながる

「OK」とか「BAD」とかではなく「**Let's!**」

学校運営協議会に求められることは？

チャレンジした経験、皆で変化を生み出した経験
これらの**プロセスの積み重ねが当事者意識を生む！**

まとめ

○ **子供を地域全体で育てていくことは、その地域の未来を創ること**。多くの人々が、バラバラの**想いを一つ**にまとめて、さらに、一人ひとりが**当事者意識**をもって、学校づくり、地域づくりへ**参画**できるか。

○ 今行っている取組や活動が、学校・家庭・地域、そして何より、**子供たちの未来**につながっているのか、皆で改めて考える必要がある。